

第I部 ニューヨークから

11

- 1 双顔の神と日本の選択 13
- 2 古代文明創造の生彩 17
- 3 自由が生む創造の仕事 20
- 4 主観を尊重する社会 24
- 5 世代間ギャップ 28
- 6 アナキストとタヌキ 32
- 7 百年の計阻む個人主義 36
- 8 教育改革で対照的な日米 39
- 9 「粉飾表現」見抜く目を 43
- 10 善か悪か一刀両断 懲悪の聖戦 46
- 11 「普遍的思考法」教育 50
- 12 虎穴を避けるリスク 54
- 13 創造性生む即興劇 57
- 14 新プログラムの創造 61
- 15 東洋と西洋の共存 65

16	安定志向、再考の時	70
17	教えたがりの米国	75
18	90年代のビジョン大切に	79
19	立派な日本人とは	83
20	物質科学と産業	87
21	理念と改革熱の衰退	91
22	文化多様化の世界	94
23	理性不足が生む摩擦	99
24	TVと視聴者との関係	103
25	大国と女性の活力	107
26	創造的平成の時代に	111
27	“新世界”への挑戦	116
28	若手学者に見たソ連の底力	121
29	立て直し待つつソ連の科学界	126
30	アメリカを支えるもの	132
31	社会動かす少数の善玉	136
32	中国にGNPシェア「33・3%」の勧め	142
33	税金には薄い道義心	147

34 バランスをとること ————— 151

第Ⅱ部 新世紀への期待 ————— 155

1 エミール再論 ————— 157

2 *Maison de la Chimie* ————— 163

3 科学技術と人類の未来 ————— 167

4 閃きによる飛躍 ————— 181

5 二十一世紀への創造のビジョンを求めて ————— 184

6 三つの文化 ————— 204

7 プログラムは自分で考えなさい ————— 213

8 若手の道 ————— 214

9 筑波大学入学式、学長式辞 ————— 218

